

手間をかけただけ楽しめる企画ができる!!



さくらフェスみの〜れ実行委員
高野 智子さん

「みの〜れはとても来やすく、楽しめるところです」と笑顔で話す高野さん。

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.81

柔らかな日差しが春の訪れを感じる頃となりました。間もなく桜の便りが聞かれますね。みの〜れの周辺もさくら色に染まり、私たちの目を楽しませてくれます。寒さにじっと耐えて野山も桜色に染める桜は天然のイルミネーション！春の陽気に誘われて散歩に出てみませんか？
今回は4月5日(土)に行われるさくらフェスティバル実行委員で那珂市にお住いの高野智子さんを取材します。

企画から関わってこそ楽しめる!!

高野さんは茨城県青年の船の会(以下船の会)に入っていて、さくらフェスティバルに誘われたそうだ。手伝ってほしい・・・手伝いに来い(笑)と知人に声をかけてもらったのが、みの〜れに来たキッカケです。今でも何名かがその時をキッカケにみの〜れに関わっています。さくらフェスティバルの実行委員としては3年目ですね。その前はさくらフェスティバル当日スタッフとして2回関わって合計すると5年はやっています。実行委員3年目でもなるとだんだん勝手が解ってきて、あれもやりたい、これもやりたい、こんなのも出来るんじゃないかって気持ちになつてくるんですね。会場レイアウトが決まり、どんなものを作るのか決まってくる、大変だけど自分の好きな風に企画を決められるので楽しいかなって思います。今年、

風の広場(中庭)担当なので屋根がないことを利用したくて、もともと科学実験をしようと言ったことだったので、ロケットを作った。飛ばさうということになりました。身近にあるもので作ることが出来るので大人でも充分楽しむことができますはず。仕事も忙しい時期にきていますが、暇でいるより嬉しいですね」と高野さん。
「趣味は彫金です。もともと物を作ることが好きで、今はペンダントヘッドを作っているのですが、ブローチや掛け時計の文字盤を銅で作ったりもします。休日は彫金教室に通ったり、みの〜れに来たりと忙しくしていますね。那珂市から、みの〜れに来てみてすごく楽しいところだと思います。ここは公共施設だけど、堅さがなくて来やすい。イベントに来るにしても、やるにしても堅苦しくないといいです。那珂市にも公民館はありますが、もっとみの〜れのような雰囲気になるといいですね。ここに来るようになってから楽しいことがたくさんあるんですよ」
と楽しそうに話してくれました。
「当日のお天気が一番気になります。晴れるといいですね。いつかみの〜れやその周辺を使って大人が本気でやる「ケイドロ」(警察とドロボーに分かれてやる鬼ごっこ)とかやってみたいな。以前に海浜公園で100人くらいでやったことがあって、楽しかったし盛り上がったので是非、やりたいです」と高野さん。
高野さんにとって、みの〜れは「保育士なので物をつくることは得意、意外と仕事のリフレッシュになっていきますね。みの〜れは来て楽しむのもいいけど、企画から関わっていると楽しいし充実感があります。子どもたちが参加してくれて喜ぶ姿を見るのが楽しい」と笑顔で話してくれました。
今年の風の広場(中庭)は大人から子どもまで楽しめるロケット作りです。びっくりするくらい飛びますので、童心に返ってご家族で楽しんで下さい。心よりお待ちしております。
(藤田佐知子)